

授業科目

ロービジョン医学演習

担当教員名 菊入 昭、正条 智広、岸 哲志、小林 泰子、林 弘美、築島 謙次、河内 了輔	対象学年	3	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	◎

授業の概要

視覚障害の定義、疫学、障害と人間学的観点から視覚障害に係るリハビリテーションの存在を理解して、眼科医療の係わりが重視されるロービジョンサービスを行うための基本的な専門知識、及び眼科医療領域において必須とされるリハビリテーション技能を演習で取り上げその獲得を進める。また、特に眼科医療における視能訓練士の役割を明確にして、実際の助言・指導や訓練法について詳しく解説する。

授業の目的

視覚に障害ある人のリハビリテーションを学ぶ。ロービジョンに関わる医療サイドのスタッフは眼科医と視能訓練士が主体になる。眼科医療において視機能の状況（障害）を評価し、必要な助言・指導、訓練が行なわれるのみならず、他領域との有機的連携を持ち総合的リハビリテーションのシステムを利用した医療福祉が提供されることを目的に知識や技能の獲得がなされることを目的とする。

学習目標

1. ケアの基本となる視覚機能評価ができる。
2. 視覚補助具の選定、活用指導、眼球運動訓練を説明できる。
3. 弱視レンズの光学的特性について理解できる。
4. コミュニケーション指導を理解し、多様な視覚障害に対応できる知識・技術を習得できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	障害受障から立ち上がる視覚障害者の生き様からリハビリテーションを考える。 ・受障者の精神的混乱 ・家族の問題 ・対社会の問題 ・福祉社会のあるべき姿 ・ロービジョンクリニックの実例	講義	菊入 昭
2	ロービジョンリハビリテーションの研究の進め方(1) リハビリテーション論の理解 ロービジョンリハビリテーションとは何か	講義	菊入 昭
3	ロービジョンリハビリテーションの研究の進め方(2) 学習の観点と問題点を示し学習・研究の指針を把握	講義	菊入 昭
4	視覚障害の定義と疫学(1) 国内、WHOの定義を理解して視覚障害の意味づけを明確にする。	講義	菊入 昭
5	視覚障害の定義と疫学(2) 視覚障害原因調査結果から視覚障害を眼科学的に把握して、視能学の係わりを研究する。	講義	菊入 昭
6	視覚障害の基本的理解(1) 障害を理解する切り口、ICF国際生活機能分類（WHO世界保健機構、2001）	講義	菊入 昭
7	視覚障害の基本的理解(2) 視機能低下と生活活動の困難、生活の適応方法「行動を変える」とは	講義	菊入 昭
8	視覚障害がもたらす精神的情緒的不安などについて (1) リハビリテーションソーシャルワーカーの社会評価と助言指導 (2) トーマスキャロルの20の喪失	講義	菊入 昭
9	視覚障害の基本的理解：演習(1) 視野狭窄、視力低下などのシミュレーションキットを利用して、視覚障害がもたらす歩行・行動、コミュニケーションの不自由を体験する。	演習	菊入 昭、正条 智広、岸 哲志、小林 泰子、河内 了輔

10	視覚障害の基本的理解：演習(2) 諸動作・行動、コミュニケーションの不自由に対してどういった軽減策を取るかを知る。	演習	菊入 昭、正条 智広、岸哲志、小林 泰子、河内了輔
11	視覚障害の基本的理解：演習(3) 諸動作・行動、コミュニケーションについて ・歩行 ・日常生活活動 ・読み書き ・点字 ・P Cの利用	演習	菊入 昭、正条 智広、岸哲志、小林 泰子、河内了輔
12	視覚障害の基本的理解：演習(4) グループディスカッション	演習	菊入 昭、正条 智広、岸哲志、小林 泰子、河内了輔
13	機器の利用を体験する演習(1) 拡大読書器	演習	菊入 昭、正条 智広、岸哲志、小林 泰子、河内了輔
14	機器の利用を体験する演習(3) iPad、タイポスコープ、その他の情報機器	演習	菊入 昭、正条 智広、岸哲志、河内了輔
15	視能訓練士が行うロービジョンの実際 眼科医療での現状報告	講義	正条 智広
16	機器の利用を体験する演習(2) 単眼鏡、遮光眼鏡	演習	菊入 昭、林 弘美、小林泰子
17	光学的補助具の分類と特徴について(1) 分類と特徴を把握する。	演習	菊入 昭、林 弘美
18	光学的補助具の分類と特徴について(2) 実物把握として演習をする。	演習	菊入 昭、林 弘美
19	視覚的補助具の選定方法と使用について(1) 光学的補助具選定評価と訓練指導について	演習	菊入 昭、林 弘美
20	視覚的補助具の選定方法と使用について(2) 視能訓練士の具体的関わり	演習	菊入 昭、林 弘美
21	屋内における基本的技能 (1)基本的な生活活動の技能を習得する。 (2)クロックポジション、テーブルオリエンテーションとA D L動作、防御姿勢など	演習	菊入 昭、正条 智広、岸哲志、小林 泰子、河内了輔
22	屋内における基本的技術 (1)オリエンテーションの方法と「手による伝い歩き」技能を指導する。	演習	菊入 昭、正条 智広、岸哲志、小林 泰子、河内了輔
23	白杖と使用の基本的技能(1) 歩行補助具としての白杖について、基本的構造や機能について学ぶ。	演習	菊入 昭、正条 智広、岸哲志、小林 泰子、河内了輔
24	白杖と使用の基本的技能(2) 世界共通の視覚障害者歩行訓練（Orientation and Mobility training）に関する基礎知識を学ぶ。 使用の基本的技能を理解すると共に訓練導入への助言資料を把握する。	演習	菊入 昭、正条 智広、岸哲志、小林 泰子、河内了輔
25	視覚障害者の総合的リハビリテーション(1) 医療から職業までのリハビリテーションシステムを理解する。	講義	菊入 昭
26	視覚障害者の総合的リハビリテーション(2) リハビリテーションの個別訓練プログラムを理解する。	講義	菊入 昭
27	リハビリテーション個別訓練評価法と訓練指導について (1) どう評価して訓練指導に結びつけるかを理解する。 (2) 眼科評価、社会評価、歩行行動評価などを取り上げる。	講義	菊入 昭
28	視覚障害者の職業訓練と就労など (1)視覚障害者の職業自立の方法は一般に知られていない。社会復帰への支援資料として把握する。 (2)国試対策として本科目領域内の資料を学ぶ。 ※特に重視されている「視覚障害者の福祉サービス」の中から数件取り上げる。	講義	菊入 昭
29	臨床ロービジョン 眼科医から（1）視機能評価	講義	築島 謙次
30	臨床ロービジョン	講義	築島 謙次

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	ロービジョンの総合的リハビリテーション	田淵昭雄、菊入昭	自由企画・出版	2010年	5,616円	
その他の資料	必要に応じて資料を配布する。					

評価方法

定期試験 70%

提出物 30%

履修上の留意点

演習部分は班別を実施するため、予定表を配布する。
再試験・追試験は必要があれば原則1回のみ実施する。
締め切りを過ぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日の昼休み

P201

shikinou@nuhw.ac.jp